

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 福岡県立城南高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒814-0111
福岡市城南区茶山6丁目21-1

E-mail : jonan-h@pref.fukuoka.lg.jp

Website : http://jonan.fku.ed.jp/

児童生徒数：男子 570 名 女子 611 名 合計 1181 名
 児童・生徒の年齢 15 歳 ~ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1. 環境教育

①「ESDセミナー」の開催

10月19日、参加希望者を募り、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の活動と合わせた特別活動として、九州大学を訪問し、同大学大学院の清野聡子准教授より福岡県および博多湾の生物多様性に関する講義を受けた。その後、福岡市西部の今津干潟で、「今津干潟を守る会」会長の中村氏より干潟の概要や変遷について説明を受けた後、清野先生のご指導の下、干潟の生物観察を行い、干潟の生物の多様性ととも、その脆弱性についても多く学ぶことができた。

2. 国際理解教育

①「国際協力セミナー」の実施

11月29日、「グローバルドリカム研修 in バンコク」の事前学習として「国際協力セミナー」を実施し、JICA九州の職員、青年海外協力隊員の方より、「国際協力」や「JICAの業務」、「タイ王国での支援活動」などについて、研修に参加予定の生徒10名の他、一般の生徒の参加もあり、35名の生徒が熱心に受講していた。

②「アジア太平洋地域ESD高校生フォーラム」への参加

11月2日～4日、大阪府立大学で「ESD世界フォーラム準備セミナー」が開催され、九州・四国地域の代表として本校からユネスコ委員の生徒2名が参加し、平成26年11月に開催される「ユネスコスクール世界高校生フォーラム」の準備等について研修を受けた。

③「ユネスコ講演会」の開催

10月31日、ユネスコアジア文化センター前事務局長・島津正数氏を講師にお迎えし、「持続可能な社会を築くために ～城南高校生に期待すること～」の演題で講演をいただいた。全校生徒が熱心に講演を聴講し、質疑応答も活発に行われた。

④「グローバルドリカム研修 in バンコク」

12月19日～25日、選考で選ばれた10名が、タイのバンコクの国連機関、日本企業、仏教寺院、マングローブ林などを訪問・視察し、現地のユネスコスクールとも交流する予定であったが、バンコクの政情悪化のため中止となった。

⑤「岡山準備フォーラム」への参加

1月11日、岡山市で「岡山準備フォーラム」開催され、本校から2名の生徒が参加し、「ユネスコスクール世界高校生フォーラム」に向けて準備や話し合いを行った。

⑥「ユネスコスクール高校生国際交流プログラム」への応募

日本ユネスコ協会連盟主催の「ユネスコスクール高校生国際交流プログラム」に8名の生徒が応募し、派遣生徒として2年の生徒が1名選出された。本年3月22日～29日の日程で、ドイツのユネスコスクールやパリのユネスコ本部、世界遺産などを訪問・視察した。

3. ボランティア活動

①城南祭チャリティバザーの開催

5月26日の城南祭で、ユネスコ委員会主催で、生徒・教職員が家庭で不要となった文具や日用品を持ち寄り販売する、チャリティバザーを開催した。生徒・教職員のみならず、保護者、地域の住民の方々、他校の生徒など、多くの来場者があり、昨年とほぼ同額の収益金を集めることができた。その収益金は、後日、ユネスコアジア文化センターに寄贈され、発展途上国の識字率の向上などに役立てられた。また、当日は、同会場で本校のユネスコスクールの取組などについても紹介した。

②「ユネスコ世界寺子屋プロジェクト」への参加

1月15日～31日、ユネスコ委員会主催で、書きそんじハガキの回収活動を行い、725枚のハガキが集まった。この書きそんじハガキは、久留米ユネスコ協会に寄贈され、「ユネスコ世界寺子屋運動」の支援金として発展途上国の教育水準の向上のために役立てられる予定である。

4. その他

①ユネスコスクール間の交流・情報交換

県内のユネスコスクールである武蔵台高校との情報交換や生徒間の交流を行った。

②ユネスコスクールに関する学校訪問や問い合わせの対応

県外の高等学校・中等教育学校2校（三重総合高校・五ヶ瀬中等教育学校）より、ユネスコスクールの活動に関して学校訪問があり、本校の活動などについて説明した。また、県内外の高等学校4校（筑紫女学園中学高校・戸畑高校・武雄高校・中津北高校）より、メールや電話等で問い合わせがあり、ユネスコスクールに対する関心が高まっていることを感じた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（文化祭などの学校行事として活動）